

学校経営計画2019

メインテーマ

共創力を発揮して 学園「宮北の森」を創る

生徒教職員が校内外の資源を活用し、そこから得た多様な価値観と能力を掛け合わせ、共に新たな学園「宮北の森」を創造していく。

I 学習・進路指導の充実

(1) 進路達成の前提となる基礎的な知識・技能を習得させる授業

- ア 授業研修や調査資料の分析により授業力を高め、「わかる授業」により基礎学力の定着を図る。
- イ 地域の資源を活用し、復興教育や防災教育を通じて探究活動を推進する。
- ウ 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業と学習評価の改善に取り組む。

(2) 自らの将来をデザインする能力をつけるキャリア教育

- ア 自らの将来を設計するための論理的な想像力を身に付けさせる。
- イ 読書指導や体験的な学習を充実させ、表現力、コミュニケーション能力を育成する。
- ウ 大学進学等を実現する指導体制を構築し、進路希望の選択肢を広げる。

II 生徒指導の充実

(1) 基本的生活習慣の確立

- ア 挨拶、礼儀、整容、マナーなど、社会生活を円滑に営むための基本を身につける。
- イ 生徒のこころを育て、いじめ防止対策を徹底して、安心安全な環境を確立する。

(2) 部活動、生徒会行事等の活性化

- ア 生徒会行事やボランティア、「宮北の森」をとおして自己発信力を高める。
- イ 小規模校の特色を生かし、全員が主役となる活動により自己肯定感を得させる。

III 特別支援体制の充実

(1) 教育活動のユニバーサルデザイン化とわかりやすい指導

- ア 教育活動のすべてにおいて、誰にでも理解できる表現や手法を用いる。
- イ 特別支援に係る校内研修を行い、教職員の支援能力の向上を図る。

(2) 生徒一人ひとりの困り感の把握と自立に向けた適切な支援

- ア 担任やSCによる面談を踏まえ、いじめ対策委員会や定例教育相談会を機能的に運用する。
- イ 個別の支援計画等で生徒の情報を共有し、オーダーメイドの支援を組織的に行う。

評価指標

NO	経営計画	評価指標	目標値	
1	(1)	ア	わかりやすい授業を行っている と答えた生徒の割合 基礎力確認調査(2年)における 正答率(3教科平均)	85% 40%
2		イ	復興・防災教育に関連する 探究活動の実施回数	3回
3		I	ウ	授業内容・評価について適切 であると答えた生徒の割合 家庭学習時間(60分以上)
4	(2)	ア	卒業後の進路実現のサポート をしていると答えた生徒の割合	90%
5		イ	能力や適性を踏まえた指導 をしていると答えた生徒の割合	80%
6		ウ	大学・短大合格者数	3名
7	II	(1) ア	本校はあいさつ・礼儀やマナー がよいと答えた生徒の割合	95%
8		イ	いじめや暴力のない学校づくりに 努めていると答えた生徒の割合 いじめに関する生徒の自主的な活動 の回数	90% 1回
9	(2)	ア	学校行事等が活発に行われて いると答えた生徒の割合	95%
10		イ	学校生活に充実感を感じて いると答えた生徒の割合	80%
11	III	(1) ア	能力や適性を踏まえた指導 をしていると答えた生徒の割合	90%
12		イ	校内研修会の回数	2回
13	(2)	ア	いじめ対策委員会・教育相談 会を開催する回数	4回
14		イ	生徒の気持ちを理解し、丁寧 に相談に応じていると答えた 生徒の割合	75%